

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

令和3年2月1日の推計人口 1,306,970人
世帯数 560,050世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和3年2月1日現在の推計人口は、1,306,970人で、前月(1,308,277)に比べ1,307人の減少となった。

市部では、大村市(52)の1市で増加し、長崎市(△455)、佐世保市(△278)、諫早市(△124)、南島原市(△83)、雲仙市(△81)、対馬市(△63)、五島市(△55)、松浦市(△48)、壱岐市(△33)、島原市(△28)、平戸市(△23)、西海市(△8)の12市で減少した。

郡部では、長与町(18)、佐々町(4)の2町で増加し、新上五島町(△44)、波佐見町(△15)、東彼杵町(△14)、川棚町(△12)、小値賀町(△9)、時津町(△8)の6町で減少した。

自然動態は、出生数709人、死亡数1,925人で1,216人の減少、社会動態は、転入者数2,326人(県内転入を含む)、転出者2,417人(県内転出を含む)で、91人の減少となった。

2 世帯数

令和3年2月1日現在の世帯数は、560,050世帯で前月(560,391)に比べ341世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 12月

1人当たり現金給与総額 562,334円
対前月比 99.0%増加
対前年同月比 1.0%増加

1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は562,334円で、前月に比べ99.0%増加し、前年同月に比べ1.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は262,873円で、前月に比べ1.4%増加し、前年同月に比べ4.3%増加した。

特別給与額は299,461円で、前年同月に比べ、5,554円減少した。

2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は153.3時間で、前月に比べ2.3%増加し、前年同月に比べ2.5%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.5時間で前月に比べ2.0%増加し、前年同月に比べ2.4%増加した。

所定外労働時間数は11.8時間で、前月に比べ5.4%増加し、前年同月に比べ4.5%増加した。

3 雇用

12月の常用労働者数は210,490人で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ6.4%減少した。

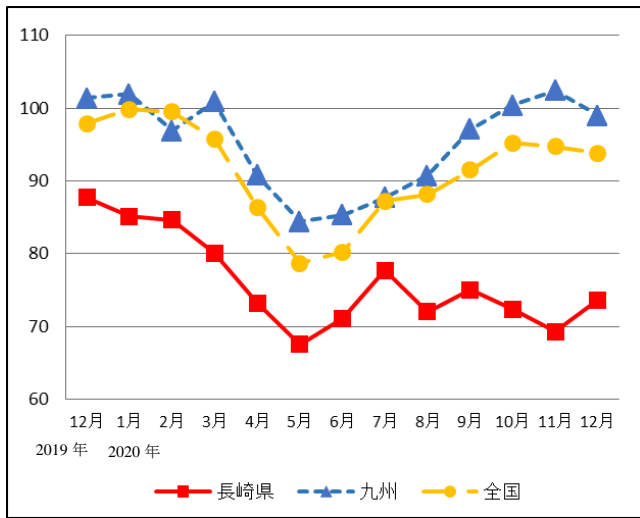
【鉱工業生産指数】……………12月

令和2年12月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	73.6	6.2	75.3	△13.1
九州	99.0	△3.3	105.6	△0.8
全国	93.8	△1.0	98.1	△2.6

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年12月の鉱工業指数は、季節調整済指数が73.6で対前月比が6.2%の増、原指数は75.3で対前年同月比は13.1%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、食料品工業、電子部品・デバイス工業など11業種が上昇し、繊維工業、輸送機械工業など2業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	27.5	開閉制御装置
食料品工業	12.8	その他の調味料
電子部品・デバイス工業	9.7	半導体集積回路

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
繊維工業	-13.7	織物製外衣
輸送機械工業	-2.3	新造船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………1月

総合指数(H27=100)	103.6
対前月比 (%)	0.4
対前年同月比 (%)	△0.2

令和3年1月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.6である。

前月比0.4%の上昇で、主な上昇要因は「教養娯楽」の+3.9%、「住居」の+0.5%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の△1.9%、「光熱・水道」の△0.3%である。

前年同月比は、令和2年9月は+0.7%、10月は△0.2%、11月は△0.5%、12月は△0.6%と推移した後、令和3年1月は0.2%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.6であり、前月比は+0.3%であり、前年同月比は△0.4%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

教養娯楽	3.9%
家具・家事用品	1.2%
住居	0.5%
食料	0.2%

▽同水準の費目

教育	±0.0
----	------

▽下落した費目

被服及び履物	△1.9%
保健医療	△0.3%
光熱・水道	△0.3%
交通・通信	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………1月

消費支出(一世帯当たり)	263,362円
前月比	41,874円減(13.7%減)

令和3年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は263,362円で、前月比13.7%の減、前年同月比は23.4%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は85.3%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。